子どものふれあいを求めて！

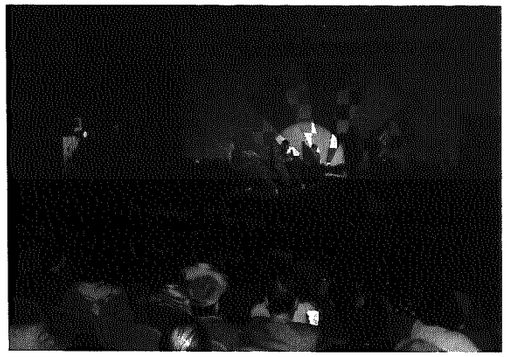
――西蒲・燕　母と女性教職員の会――

先月二十日、和納小学校に小・中学生の子どもを持つ母親と女性教職員ら約五百三十人が集い、『西蒲・燕　母と女性教職員の会』が開かれました。

「子どもらよ、健やかに育て！」というテーマを掲げて始まったこの会も、今年で四十回目を迎えました。

当日は、子どもとの温かな心のふれあいを求め、一人ひとりの豊かな成長を願う親と教職員が「おもいやり・やさしさを育てるには」や「子どもの進路選択」など八つの分科会に分かれて、それぞれ真剣に話し合いを行いました。

▶アトラクションには〝棒遣い〟が…


▶超満員の会場で…

県央メッセピアで神楽舞を披露

――きらめく越後Ｉ♡（ラブ）県央'94――

県央広域市町村圏協議会と信越郵政局の主催による「きらめく越後Ｉ♡（ラブ）県央'94」が先月12日・13日の両日、県央メッセピアに約１万３千人を集めて開催されました。

このイベントは、「県央地域を広くＰＲするとともに、圏域住民の一体感を深めよう」と行われているものです。

13日に行われた郷土芸能発表会には、当村から和納文化財保存会（代表竹内松太郎さん）も参加し、神楽舞を披露しました。同保存会では、現在、会員を募集しています。興味のある方は、竹内さん（☎82－３２１９）に連絡してください。

〝いたわり〟の気持ちを大切に！

――ホームケア講座――

今年のホームケア講座は、「ボケをよく知ろう」をテーマに、四回開催されました。つばめ福寿園の後藤孝志園長の講演では、痴呆の特徴や心活化援助など、痴呆に対する基礎知識を学びました。また、痴呆老人の行動異常の場面を想定した劇を行い、その時の心理状態や介護方法を真剣に話し合いました。その他、「いわむろの里」訪問や調理実習も行われ、とても好評でした。

家庭で介護を続けるためには、痴呆を正しく理解し、医療を上手に利用しながら、いたわりの気持ちで接することが大切だそうです。

▶「いわむろの里」へ施設訪問

▶チビッ子消防隊出動！

万が一の火災に備えて…

――間瀬小学校で〝防火訓練〟――

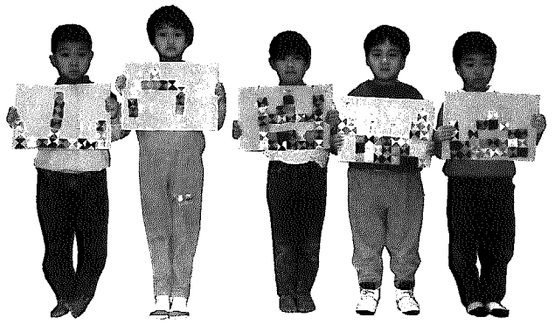
秋の火災予防運動の初日となった先月９日、間瀬小学校で**消防秋季総合訓練**が行われました。

当日は、同校理科室付近から火災発生との想定で訓練を開始。先生の誘導で各学年ごとにグラウンドに避難、そこに消防署員・消防団員が到着し、放水訓練を行いました。また、４年生４名がミニ消防士に変身し、ミニ消防車「まもるくん」で放水を行いました。

この訓練には、間瀬保育園の園児も見学にきており、佐藤消防団長からの防火についての説明を、小学校のお兄さん、お姉さんと一緒に聞いていました。

■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもＯＫ。総務課企画係（☎82―4111内線215）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

ぼくわたしの自信作


■写真左から：いけがみしゅんすけくん、しみずさえこちゃん、ほしのわたるくん、しばやまそうしくん、たけうちつよしくん　（和納保育園・５歳児）

子どもの心と体を育む食事を

――学・家・地連携推進事業「実践報告会」――

昨年度から進められてきた『学校給食における学校・家庭・地域連携推進事業』。その経過・実践報告会と記念講演会が、先月十一日に行われました。当日の午前中は、学家連携・地域・調査広報の三部会からの事業経過報告が行われ、午後からは、村内各小・中学校の給食主任からの各校の取り組みが報告され、また、県立新潟女子短大の岡田玲子教授から「子どもの心と体を育む食事を」と題した記念講演も行われました。

詳しい内容については、号を改めてご紹介します。

▶岡田玲子教授による記念講演

「病気に負けないでネ！」

――岩室中学校の生徒が温泉病院を慰問――

「病気に負けずにリハビリに頑張っている患者さんの心の励みになれば…」と、また、「村内の病院との交流を深めることで、地域社会に対する理解を深める」ことを目的に、岩室中学校の生徒約五十名が先月二十二日、岩室温泉病院を訪問しました。

当日は、訪問に当たり生徒が書いた作文を発表したり、吹奏楽部の生徒による演奏等が行われ、患者さんたちは楽しい一時を過ごしました。

また、アルミ缶回収運動などの収益金で車椅子等を購入し、温泉病院といわむろの里に寄贈しました。

和納４区の星野庚造さんが〝秋の叙勲褒章〟で『勲六等単光旭日章』受章

星野さんは、昭和21年６月に弱冠17歳で和納村警防団に入団。以来、多年にわたり消防業務に精励し、地域住民の生命、身体及び財産を守り続けました。そして、昭和47年に吉田町・弥彦村・岩室村の３町村を管内とする「西蒲原郡南部消防事務組合」が設立されてからは、岩室分署長としてその卓越した指導力、統率力を発揮し、災害を最小限にくいとめました。

そんな星野さんに、今回の叙勲褒章でめでたく『勲六等単光旭日章』が贈られました。本当におめでとうございました。

▲消防功労で今回受章された星野庚造さん（和納４区・65歳）

また、今回の叙勲褒章では、本村出身で東京都在住の東京都自動車整備振興会理事・**山田喜芳**(70)さんが、自動車整備事業振興功労で**勲五等瑞宝章**を受章されました。